

2020年1月4日 ~ 2020年1月10日

2020年1月15日

先週の回顧

先週のトルコ・リラ相場は対米ドル・対円ともに上昇しました。トルコの2年国債金利は低下しました。

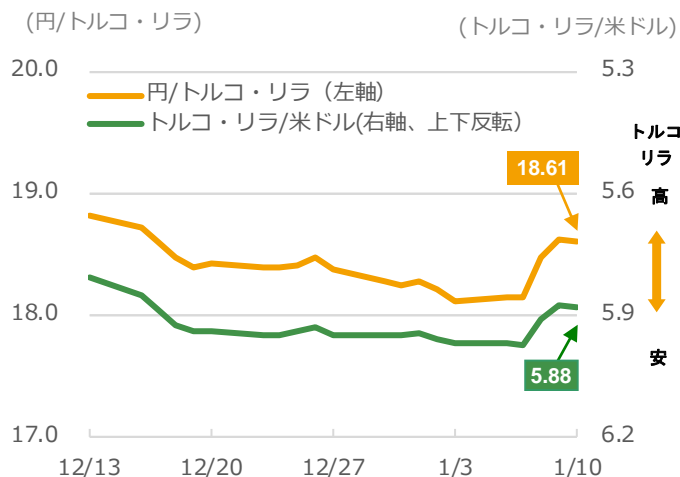
先週は週前半にイランが米軍の駐留するイラク空軍基地へ報復攻撃を行ったことから金融市場全般でリスク回避的な動きとなりました。しかしエルドアン大統領は米国とイランの緊張緩和に（向けて仲裁を）努力すると演説し、これによりトルコと米国との関係改善の思惑から、トルコ・リラは対米ドル・対円ともに上昇しました。その後米国とイランの双方の発表により、両国の衝突の拡大が回避されたことから、トルコ・リラは続伸しました。

今週の見通し

今週は、トルコ国内では16日（現地）にトルコ中央銀行の金融政策委員会が開催される予定です。市場参加者の予想は様々です。足元では、トルコ国内の経済指標は軟調なものが多く、政府からの追加利下げ要求の圧力は強いと考えられます。一方で、インフレが加速しており、追加利下げにより実質金利が低下しトルコ・リラ資産の投資妙味が低減する可能性があります。今週のトルコ・リラは、金融政策委員会の結果をめぐって大きく変動する可能性があると考えています。

トルコ・リラ 為替推移

(2019年12月13日~2020年1月10日)



*四捨五入の関係で数値とグラフの目盛りが一致しない場合があります。

トルコ 金利推移

(2019年12月13日~2020年1月10日)



(出所) Bloomberg等より大和投資信託作成

当資料のお取扱いにおけるご注意

- 当資料は投資判断の参考となる情報提供を目的として大和投資信託が作成したものであり、勧誘を目的としたものではありません。投資信託のお申込みにあたっては、販売会社よりお渡りする「投資信託説明書（交付目論見書）」の内容を必ずご確認のうえ、ご自身でご判断ください。
- 当資料は信頼できると考えられる情報源から作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。運用実績などの記載内容は過去の実績であり、将来の成果を示唆・保証するものではありません。記載内容は資料作成時点のものであり、予告なく変更されることがあります。また、記載する指数・統計資料等の知的所有権、その他一切の権利はその発行者および許諾者に帰属します。